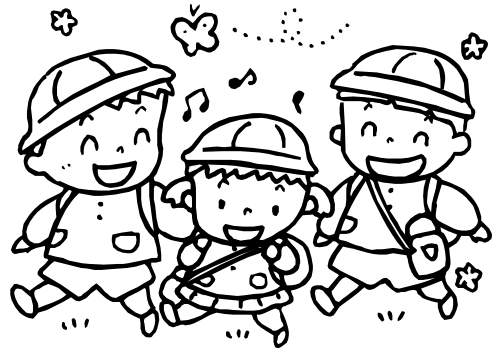




2021.5.17 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

1歩1歩確実に

新学期が始まって1か月半が過ぎようとしています。ゴールデンウィークがあったので、日数で数えればわずか22日。でも子どもたちの成長は目覚ましいスピードで、日に日に進んでいます。登園してからの身の回りの支度、クラスや運動場での自由遊び、給食時の準備や後片付け、トイレタイムの身支度等々、先生たちは手伝いながら子どもたちの様子を見ています。また年長組の子どもたちが小さいクラスの子どもの面倒をみて、先生のお手伝いをしてくれる子もいてとても助かっています。



先生たちはどの子にも根気よく声かけをし、出来た時はいっぱいほめて、出来なかった時はさっと切り替えて次に期待し、毎日毎日その繰り返しです。最初は全員に手をかけないと動いていかなかったものが、少しずつ教師の手を借りなくても自立していく子が増えてきて、スムーズに進んでいくようになりました。子どもたちの変化は我々にとっても喜びであり、成長していく頼もしい姿に思わず顔がほころびます。

まだスクールバスに乗る時、幼稚園に登園して離れる時、どうしても涙がこぼれてしまうお子さんもみえますが、お母さんが恋しくて泣くのは当たり前。長い人生を思ったら、今はほんの一瞬で、もう少しすればきっと笑顔で「行ってきます」と元気な姿を見せてくれる時が必ず来ます。「♪～1日1歩、3日で3歩、3歩進んで2歩下がる～♪」の歌にあるように、正に1日1歩ずつです。また成長の進み具合は1人ずつ違いますので、あせらず気長に見守ってくださいね。よろしくお祈りします。



みんなでシェアする社会に

先日、女性ばかりの会にお招きをいただき、「真の男女共同参画社会とは」と題し、みんなでシェアする社会が理想的との内容でまとめお話ししました。資料の参考としたのは、以前研修を受けた村木厚子氏の話でした。元厚生労働省職員で、郵便不正事件で逮捕されましたが、その後無罪となり復活された方です。

人口が減少していく日本で必要なことは、女性の就労を増やすこと、働き方改革を進めること、日本の科学技術やイノベーションを進めること、と村木氏はおっしゃいました。女性の就労はこれからも増えることでしょう。子育てをご夫婦、地域、社会とみんなで助けてもらえば、女性の負担も減ります。働き方改革は男性にも必要です。性別・年齢・ハンディ等に関係なく、みんなで助け合う社会を目指すことは子どもたちのためにもなります。幼稚園も需要に従って預かり保育、2・3歳児保育を取り入れました。「みんなでシェア」の思いで、お手伝いをしていきます。

母の日に思う

母の日から1週間過ぎましたが、お子様からのプレゼントは使って頂いていますか？子どもたちが大好きなお母さんのために一生懸命作った世界でたった一つのプレゼントです。もらった瞬間、うるうるの方もみえたのではないのでしょうか。きっと一生心に残りますね。

私は毎年、4人の子どもたち（1男3女）が出し合ってお花のアレンジと可愛いピアスをプレゼントしてくれます。それとは別に息子が必ずカーネーションを1輪くれるのです。初めてもらった時のことを今でも覚えています。仕事帰りに彼が寄ったのはホームセンター。そこで赤いカーネーションを見つけて、意気揚々と私に渡しました。「ありがとう」とお礼を言いましたが、その花束は白い菊と黄色の菊の3本セットだったのです。そうです。なんと彼は墓参用の花を買ってしまったのでした。夜遅く空いている店を見つけて、やっと買ったカーネーション。息子の気持ちを考えると彼のミスを責めることは出来ませんでした。後々、そのことを息子に伝え大笑い。この時期、思い出話に花が咲きます。

